



ニューサンキング

らくびお 楽Bio通信

2021年
2月号

NS 乳酸菌革命記

5年前、我々の養豚実験で豚の精神的な変化を見ると、乳酸菌が哺乳類動物（人間も同じ）の行動や行いをコントロールできることが分かりました。いま、私達は、生理的な健康に関心をもっているだけでなく、心理的な健康にも強い関心を抱いています。人間の自殺という行為、精神分裂、二重人格などの原因は、バクテリア及びウイルスと密接に関係があると注目しています。豚がおとなしくなるのは、硫化水素とアンモニアが抑えられたのが原因だという解釈はまだ不十分だと思っています。細かい分子レベルの変化及び作用のメカニズムを解明するまで、我々は研究を続けていきます。将来の私達の幸せ、家族の団らん、会社のいい雰囲気づくりには、バクテリアの働きが欠かせないと私は考えています。

うにすることです。牛乳、豆乳など、乳酸菌のメイトになるものをしっかりと摂ることが大切です。

乳酸菌は農業にも役立てることが出来ます。空気がないと人間はすぐに死んでしまいます。水や食べ物がないと人間は数日間死んでしまいます。家や車より食べ物の方が大事なこととは言ってもありません。いい空気という水をつくるためには、いい環境が最優先です。私は若い頃、農薬中毒で死にかけた経験があり、生命科学をライフワークとしてきた観点からも、食の安全性には常に気を配り、農薬、化学肥料を使わない農業を推進してきました。

ほとんどの農産物は中性状態で育ちます。甘さがあるのは果物くらいで、これは虫が付きやすい状態なのです。動物同様に、植物も酸でコーティングすれば、虫が付きにくくなります。もちろん、有機酸は動物だけではなく植物にとっても無害です。

こうした農法が確立すれば、農業に依存せずに安全な農産物をつくることができます。農薬が少なければ、水も空気もよくなります。水と空気がよくなれば、食べ物もよくなり、人間もよくなります。

科学雑誌「ネイチャー」の記事の中で、「Who are we?」とい

うものがありました。人間は、細胞の数の約100倍のバクテリアと共生しているの、私たちは「バクテリアグループ」だと捉えることができます。空気と水、食料があっても、バクテリアなしには、私たちは生きることができません。すべての病気は遺伝子で解決できるというより、すべての病気はバクテリアグループと深い関わりがあるというほうが正しいです。

いま、日本、中国、アメリカの研究機関が共同で、腸内に500、1000種類あると言われているすべてのバクテリアのゲノムを解析するプロジェクトが始まっています。ウイルスとバクテリアがなければ、高度な生命は進化できません。腸内のバクテリアのDNAも、我々の進化の途上で共生しているものに違いありません。

遺伝子というのはとても安定した物質なのに、人間は突然病気になる。これはとても不思議なことで、長い間遺伝子の研究をしましたが、解明できないことがたくさんあります。

私達の遺伝子の中には、ウイルスやバクテリアと同じものがあり、影響を与え合いながら、一緒に進化してきたのです。私達はウイルスやバクテリアと共生関係にあるのです。



馬も鳥も仲良しの世界
撮影：西村幹也（NPO 法人しゃがあ）

抗生物質の発明と病原菌の発生では、常に抗生物質が後になります。やられたらやり返すと、ウイルスやバクテリアは変性して新しいものになり、殺しても殺しても終わりがなくなります。戦う、殺すという考え方よりも、平和的共存という考え方を考えて、できるだけ感染させないように、感染しても増殖して悪い物質を出さないようにするのが賢明な考え方です。

「乳酸菌革命」より抜粋



お客様の声
ページ→

毎朝起床からすぐに2粒と水で飲んでます。
2週間ほど前から飲んでいて、
肌がしっとりしたように感じます。

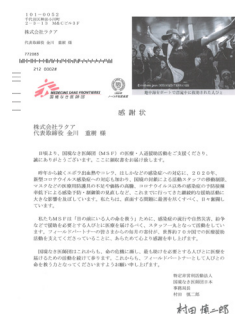
50代・女性・大阪府在住

※個人の感想であり、効果効能を示すものではありません。

1日に1カプセルと豆乳と一緒にいただいています。
毎朝、この乳酸菌を最初に腸の中に入れてみます。
飲み始めから、便の色が明るい黄色になってきました。
便秘も解消され、気持ちよくなりました。
また、風邪やインフルエンザにかからず、ひと冬を過ごす
ことができました。

50代・男性・大分県在住

「大草原の乳酸菌」
お客様の声



「感謝状」
国境なき医師団より感謝状を
頂きました



「細胞」
(2021年2月号)
NS 乳酸菌が掲載されました



「元気読本」
(2021年1月号)
NS 乳酸菌が掲載されました



「日本講演新聞」
(2021年1月号)
大草原の乳酸菌が掲載されました

メディア掲載

著者の永松茂久氏（株式会社人財育成 JAPAN 代表取締役、永松塾主宰、知覧「ホテル館富屋食堂」特任館長）は大分県中津市生まれ。「一流の人材を集めるのではなく、今いる人間を一流にする」というコンセプトのユニークな人材育成法には定評があり、全国で数多くの講演、セミナーを実施。「人の在り方」を伝えるニューリーダーとして、講演の累積動員数は40万人にのぼる。現在は東京に自社のセミナールームをオープンし、様々な事業を展開する実業家である。著者の累計発行部数は190万部を突破している。



「在り方」
(サンマーク出版)



「人は話し方が9割」
(すばる舎)

おすすめ書籍

しゃがあの 日蒙文化交流支援

ラクアが支援している
日蒙文化交流活動です。
賛助会員を募集しております。



バンベンの 砂漠緑化支援

ラクアが支援している
モンゴル地方の
植林活動です。



NS乳酸菌で 良質な堆肥づくり

岐阜県高山市で NS 乳酸菌を活用した特別な堆肥づくりが行われています。ラクアでは(株)スピリットが推進する持続可能な社会的農業を応援しています。



笑顔プロジェクトで 子ども食堂支援

笑顔の自画像イラストを作成することで、作成費用の一部が「子ども食堂食材支援」に使用されます。ぜひ笑顔プロジェクトにご参加ください。



■ 電話でのご注文・お問い合わせ

フリーダイヤル
0120-098-529

※受付時間／9:00～21:00 (土日祝日も承ります)

■ ホームページでのご注文・お問い合わせ

大草原の乳酸菌 検索



大草原の乳酸菌



楽Bio通信